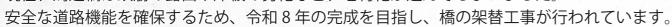
馬追橋は今から 120 年ほど前、明治 34 年に初めて架設された橋で、現在の橋は6代目になります。 栗山と長沼・恵庭・江別・札幌などを結ぶこの橋には、開拓時代の夢と歴史が詰まっています。

## 「夕張川に橋を架ける」

それは渡し船で川を渡っていた時代、多くの人々の悲願でした。 現在、馬追橋は鉄筋の露出や床板の劣化など、老朽化が進んでしまいました。









6代目の馬追橋、仮橋工事中(令和2年) 5代目の馬追橋護岸工事(昭和25年)





4代目の馬追橋渡橋式(昭和9年

## 恵庭栗山線 馬追橋架替工事に 伴う迂回のお願い

馬追橋の旧橋解体工事が始まります。 新橋完成までの間、仮橋への迂回により ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力 をお願いします。

## ◆仮橋供用期間

令和3年6月25日(金)~令和8年3月(予定)

## ◆問い合わせ

- 北海道空知総合振興局
- 札幌建設管理部岩見沢出張所道路第3
- **2**0126-26-3011





を求める声が高まる 代目の馬追橋が完成。下流に200 自動車の利用が増え、 ル移動し永久橋になる。 への架け替え

令和3年

昭和34年

昭和25年

昭和9年

代目の馬追橋が完成

橋台に初めて鉄筋コンクリ

・を使用した。

大正12

加により橋の耐用年数を縮めることになった。交通の要衝として地域の経済発展に貢献する。

上流の夕張橋と並ぶ夕張川

上の大橋となり、

しかし、

交通量の増

入植者の アイヌの丸木舟を活用して夕張川を渡る。 しけ船を使った渡船場を大量に開設する

明治26年 明治23年

明治45年

洪水により初代馬追橋がつい落する

栗山と長沼が資金を出

交通を維持した。

大正元年

2代目の馬追橋が完成。

大正10年まで一部損傷・流失が発生する

大正11

(現在の道道)に認定されより2代目の馬追橋もつい

落する

地方費の予算で架設

明 34

明治21年

はしけ船の流失が増えたため人を一緒に運ぶ馬船を導入す栗山駅開設以降、石炭産業を